



2月度議員懇談会

北陸新幹線開業を見据えた福井の観光戦略について学ぶ

2月度議員懇談会を2月1日午前11時から福井商工会議所ビル地下国際ホールにて開催した。

開会にあたり川田会頭は「現在、国内では人手不足が深刻化している。福井県は有効求人倍率が東京



と1、2位を争う高い地域だが、企業経営の視点からは決して良いことばかりではない。昨年12月の調査では、1・96倍と東京・広島に次ぐ3番目に順位を下げっており、前月より若干改善したが、まだまだ人材確保に課題が残る。また、世界的に景気が拡大する一方で、イタリアなどで蔓延る不良債権問題や、



データを元に、福井の観光の弱点を解説する笹田氏

中国のシャドーバンキングなど、景気悪化につながるリスクが存在する。いつまで現在の景気が続くかについては注意が必要だ」と述べた。

次に、西日本旅客鉄道(株)福井支店の笹田修司支店長代理より、北陸新幹線がもたらした影響と福井の観光産業が進んでいる取り組みをテーマに卓話が行われた。

まず、北陸新幹線の金沢開業がもたらした影響について、笹田氏は「北陸新幹線の開通後、金沢と富山

の観光客入込数は上昇している。しかし、富山の宿泊者数は変わっておらず、北陸新幹線開通のメリットが表れていない」と解説した。

続いて、福井県の観光の現状について言及し、「『じゃらん宿泊旅行調査2016』によれば、福井県は北陸三県の中で観光客の満足度が最も低い。このまま観光客が増えても、不満を抱く観光客が増える一方となる。まずは福井に訪れる観光客の満足度向上が急務だ」と説明した。観光客の満足度向上のために、笹田氏は「地元ならではの食」や「魅力的な特産品・土産物」などに力を入れるべきだと助言した。また、国内の観光客は全体的に減少傾向にある一方で、外国人観光客の数は年々増加しており、インバウンド対策の必要性についても指摘した。

最後に、各課より開催予定のセミナーや視察会、会員交流会などについて説明した。